

文 化 賞

氏 名	主 な 事 績
片 寄 涼 太	本市出身の氏は、現在、アーティスト・俳優として活躍中である。 氏は、平成24年11月、GENERATIONSのボーカルとしてメジャーデビューし、多くの楽曲にて高い評価を受けている。 平成26年にテレビドラマで俳優デビューすると、その後も多くのドラマ、映画、舞台に出演するなど、アーティストとしてだけではなく、俳優としても幅広く活躍し、その地位を確固たるものとしている。 令和元年に、100年以上の歴史を誇るアメリカのエンターテインメント産業専門の業界紙『Variety』とマカオ国際映画祭が選ぶ“アジアの次世代スター8人”に選ばれると、令和3年には日本人で初めてGIVENCHYのアンバサダーを務めるなど、氏の活躍は国内にとどまることがない。 氏は本市出身であることが広く知られており、氏の主演映画上映の際には地元である本市内の映画館で舞台挨拶が実現。テレビ番組などで本市への愛着を語られるなど、自らの活躍とともにさまざまな機会を通じて本市の魅力を広く発信されている。 また氏は、若い世代を中心に本市の魅力を全国に広げ、未来の八尾に夢を抱く子どもたちの育成を図るべく、令和5年10月29日に「八尾の魅力大使」の特任大使「やお観光創造アンバサダー」に就任。就任後は自らのSNSで本市の情報を発信し、自らのYouTubeチャンネルでは、実際に本市のまちを歩き、文化、自然、特産物などに直接触れ、その魅力を語るなど、本市の魅力を若者目線で再発見し積極的に国内外に発信されている。 さまざまな場面において、地元八尾への愛着や魅力を精力的に発信される氏の活動は、「やお観光創造アンバサダー」の枠にとどまることなく、本市の魅力創造へのさらなる貢献が期待されるところである。 これらの国内外にわたる氏の活躍は、市民にとって大いに誇ることができるものであり、また、本市の芸術文化の発展、魅力創造に果たしてきた功績は誠に顕著である。

文 化 新 人 賞

氏 名	主 な 事 績
会 所 幹 也	本市出身の氏は、16～17世紀を中心にヨーロッパで広く普及した弦楽器であるリュートの奏者として、洗練された技術に支えられた豊かな音楽性と透明感のある音色に定評があり、次世代のリュート奏者として日本国内にとどまらず世界的に注目を集めている。 4歳よりギターを始め、幼少期より多数のコンクールにて入賞を重ねていた氏は、ウィーン国立音楽大学ギター科においてアルバロ・ピエッリ氏のもとで研鑽を積み、平成30年に、修士課程を首席で卒業される。かねてよりクラシック音楽以前のルネサンスやバロック時代の音楽に高い関心があり、古楽器リュートにおける歴史的演奏法を学ぶ必要性を強く感じた氏は、令和元年、リュートへの転向を決意。ドイツに拠点を移し、フランクフルト国立音楽大学にて、本格的にリュート及び通奏低音楽器であるテオルボの研究を始められる。 令和4年、リュートを本格的に始めてわずか3年で、リュート界唯一と言われる第11回マウリツィオ・プラトラ国際古楽コンクール(イタリア)にて優勝。令和5年には、ザ・フェニックスホール(大阪)で開催された「会所幹也リュートリサイタル」において、リュートのソロリサイタルとしては異例の満席動員を達成し、大手新聞社や大手音楽雑誌にも大きく取り上げられた。この成果が評価され、リュート奏者として初めて、大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会により「令和5年度大阪文化祭奨励賞」を受賞される。 また、令和6年10月から「会所幹也リサイタルツアー2024」の開催を予定(令和6年9月末時点)するなど、氏は、拠点ドイツのみならず、日本においても聴衆を古楽に誘う活動を本格化させている。 国内外にわたるこれらの氏の活動は、広く芸術文化の発展に寄与されるものであり、今後、大きく飛躍されることが期待できるものである。

文 化 新 人 賞

氏 名	主 な 事 績
西 亜 利 沙	本市出身の氏は、現在、ラグビーフットボール選手として活躍中である。 本市で生まれ育った氏は、6歳から15歳まで八尾ラグビースクールへ在籍、その後、女子ラグビーの強豪である関東学院六浦高校へ進学された。 高校2年生の時に、世界と戦える可能性を秘めた人材をユース世代から発掘し、育成・強化に取り組むプログラムである「セブンズユースアカデミー」のメンバーに選出されると、高校3年生の時には、7人制ラグビー（セブンズ）の大会出場選手などからセブンズ日本代表候補になり得る選手を招集し、育成・強化を図る選抜集団である「女子セブンズ・デベロップメント・スコッド」に選出。高校卒業後、立教大学に入学した氏は、ラグビー部に所属するとともに、社会人チームである東京山九フェニックスに所属される。 また、令和5年12月に、アラブ首長国連邦で開催された世界最高峰のワールドシリーズである「HSBC SVNS 2024」のドバイ大会で初めて7人制ラグビー女子の日本代表（サクラセブンズ）に選出されると、令和6年4月に開催された同シリーズの香港大会、同年5月に開催されたシンガポール大会に出場してチームに貢献されるなど、国内外にわたり活躍されている。 令和6年7月から開催されたパリオリンピック2024では、氏は同競技の日本代表メンバー内では最年少かつ、唯一の大学生として選出。同大会で全5試合に出場されると、強みであるキックと味方を生かすアタックでチームに貢献。9位決定戦では、ゴールキックで自ら得点し勝利に貢献されるなど、大会を通して3勝を挙げ、平成28年に開催されたリオオリンピック大会の10位を超えるオリンピック最高の9位という成績を残された。 これらの氏の活躍は、本市のスポーツ活動の発展に寄与されるものであり、今後も大きく飛躍することが期待できるものである。

文 化 新 人 賞

氏 名	主 な 事 績
西 尾 隆 矢	本市出身の氏は、現在、日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）のセレッソ大阪において、屈強なフィジカルを活かした対人の強いセンターバックとして、レギュラーかつ副キャプテンとして活躍中のプロサッカー選手である。 本市で生まれ育った氏は、兄の影響もあり小学校１年生からサッカーを始めると、恵まれた体格と高い身体能力を生かしたプレーで、幼少期よりその頭角を現す。中学校に進学後、世界基準を前提にプロサッカー選手の育成に力を注いでいるセレッソ大阪アカデミーＵ－１５、高校進学後にはセレッソ大阪アカデミーＵ－１８に加入。さらに、高校２年生からは、セレッソ大阪Ｕ－２３に加わり、Ｊリーグの３部リーグ（Ｊ３）で、プロの試合経験を積み、令和２年よりセレッソ大阪のトップチームに昇格される。 持ち前の強固な意志で研鑽に励み努力を惜しまない氏は、年代別の日本代表選手として１５歳から選出されるなど着実にその存在感を増していく。令和５年末には国際親善試合における日本代表「サムライブルー」に選出。今や、日本を代表するサッカー選手にまで成長し、今後のサッカー界を背負う存在になることが期待される有望の選手である。 また氏は、オフシーズンには地元に戻り、地域の子供たちとサッカーボールで楽しく遊びながら、サッカーという競技に触れる機会を創出するなど、育成活動を進めている。さらに、地元である高安地域が配信しているネット番組などを通して、子どもの頃の思い出や、地元をはじめ本市の魅力を全国に広めるなど、今後、サッカーの普及への取り組みだけでなく、本市の魅力を国内外に発信する大きな存在となることが期待される。 令和６年７月から開催されたパリオリンピック２０２４では、日本代表選手として３試合に出場されると、出場した全ての試合においていずれも無失点に抑えるなど、氏の持ち味である対人の強いディフェンスでチームに貢献。チームの決勝トーナメント進出につながる、大きな役割を果たす。 これらの氏の活躍は、本市のスポーツ活動の発展に寄与されるものであり、また、これからの日本のサッカー界を牽引する有望な選手として、大きく飛躍することが期待できるものである。

一 般 表 彰

(各分野五十音順)

(1) 行 政 委 員 会 等 委 員

表 彰 分 野	氏 名	住 所
農 業 委 員 会 委 員	井 上 秀 一	八 尾 市 新 家 町
	向 井 正 雄	八 尾 市 福 万 寺 町

(2) 市 政 協 力 関 係

表 彰 分 野	氏 名 (団 体 名)	住 所 (所 在 地)
自 治 振 興 委 員	内 村 正 行	八 尾 市 相 生 町
	金 沢 照 夫	八 尾 市 西 山 本 町
	竹 村 征 夫	八 尾 市 南 本 町
	谷 元 久 雄	八 尾 市 宮 町
	辻 田 純	八 尾 市 東 山 本 町
	出 合 廣 子	八 尾 市 末 広 町

自治振興委員	長井清	八尾市栄町
	西川智津子	八尾市宮町
	平田隆夫	八尾市本町
	藤本正	八尾市亀井町
	松島孝則	八尾市志紀町
	南野彰	八尾市木の本
	宮澤良美	八尾市久宝寺
	若松文夫	八尾市東本町
統計調査員	瀬戸口恵子	八尾市跡部南の町
環境保全	萩原星子	八尾市恩智中町
薬剤師会	山下章子	八尾市刑部
保健衛生活動	八尾市食生活改善推進協議会	八尾市本町
消防活動	坂本敦浩	八尾市黒谷
	塚尾誠一	八尾市上尾町

消 防 活 動	中 川 憲 一	八 尾 市 太 田
	山 中 篤	八 尾 市 服 部 川
火 災 予 防 協 会	株 式 会 社 梅 崎 商 会	八 尾 市 恩 智 北 町
	株 式 会 社 キ ョ ク ト ー	八 尾 市 曙 町
ま ち づ く り	西 郡 ま ち づ く り 協 議 会	八 尾 市 桂 町
	八 尾 小 学 校 区 ま ち づ く り 協 議 会	八 尾 市 本 町
民 生 委 員 推 薦 会 委 員	角 倉 章	八 尾 市 八 尾 木 東
介 護 保 険 関 係 委 員	多 田 羅 浩 三	兵 庫 県 西 宮 市
	森 川 仁 文	八 尾 市 松 山 町
	山 本 賢	八 尾 市 太 子 堂
公 共 下 水 道 事 業 経 営 審 議 会 委 員	石 原 美 保	(ご本人の意向により不掲載)
	浦 上 拓 也	兵 庫 県 西 宮 市
	大 屋 弘 一	泉 大 津 市 末 広 町

(3) 社会福祉関係

表彰分野	氏名	住所
民生・児童委員	石 崎 啓 子	(ご本人の意向により不掲載)
	井 上 君 子	(ご本人の意向により不掲載)
	梅 本 直 紀	八 尾 市 南 本 町
	梅 本 洋 子	八 尾 市 緑 ケ 丘
	近 江 豊	八 尾 市 老 原
	小 野 佳 英 子	(ご本人の意向により不掲載)
	金 田 照 雄	八 尾 市 桂 町
	川 勝 庄 三	八 尾 市 太 子 堂
	北 山 景	(ご本人の意向により不掲載)
	栗 山 博 行	(ご本人の意向により不掲載)
	阪 口 潤 子	八 尾 市 東 山 本 町
	芝 久 美 子	(ご本人の意向により不掲載)

民 生 ・ 児 童 委 員	下 司 朱 実	(ご本人の意向により不掲載)
	高 橋 博 子	八 尾 市 佐 堂 町
	田 中 恵 美 子	八 尾 市 桂 町
	津 田 慶 子	八 尾 市 龍 華 町
	椿 井 正 仁	八 尾 市 植 松 町
	寺 下 正 登	八 尾 市 末 広 町
	寺 田 眞 喜 子	八 尾 市 山 本 町 北
	中 村 美 智 子	八 尾 市 東 弓 削
	西 岡 清 美	八 尾 市 高 砂 町
	西 岡 好 子	(ご本人の意向により不掲載)
	西 川 一 男	八 尾 市 青 山 町
	平 田 一 紀	(ご本人の意向により不掲載)
	古 澤 陽 子	八 尾 市 曙 町
	細 田 昌 克	八 尾 市 若 林 町

民 生 ・ 児 童 委 員	堀 内 百 合 江	八 尾 市 志 紀 町 西
	松 村 俊 一	八 尾 市 教 興 寺
	三 好 隆 夫	八 尾 市 龍 華 町
	森 井 敏 雅	八 尾 市 北 本 町
	森 澤 妙 子	(ご本人の意向により不掲載)
	柳 澤 正 和	八 尾 市 東山本新町
	山 下 豊 次	八 尾 市 山 本 町 北
	山 中 美 香	(ご本人の意向により不掲載)
保 護 司	浅 田 奈 美 枝	八 尾 市 堤 町
	石 井 江 身 子	八 尾 市 堤 町
	上 田 哲 夫	八 尾 市 弓 削 町
	西 上 賢 三	八 尾 市 亀 井 町
	西 川 知 広	八 尾 市 弓 削 町
	西 川 訓 史	八 尾 市 植 松 町

更生保護女性会	田 中 隆 子	八 尾 市 佐 堂 町
	中 舘 公 子	八 尾 市 長 池 町
	森 田 美 代 子	八 尾 市 東 本 町
保 育 ・ 児 童 福 祉	竹 田 真 喜 子	柏 原 市 上 市
高 齢 者 福 祉	上 杉 直 輝	八 尾 市 福万寺町南
	西 村 典 悦	(ご本人の意向により不掲載)

(4) 産 業 経 済 関 係

表 彰 分 野	氏 名	住 所
商 工 会 議 所	岡 田 健 治	八 尾 市 山 本 町 北
消 費 生 活	野 田 綾 子	(ご本人の意向により不掲載)

(5) 人 権 関 係

表 彰 分 野	氏 名 (団 体 名)	住 所 (所 在 地)
人 権 啓 発 活 動	川 東 佐 江 子	八 尾 市 東 久 宝 寺
	八尾市女性団体連合会 桂 地 区 女 性 会	八 尾 市 桂 町
人 権 擁 護 活 動	宮 地 文 江	八 尾 市 南 久 宝 寺

(6) 教 育 関 係

表 彰 分 野	氏 名	住 所
青 少 年 育 成 活 動	西 郡 武 吏	八 尾 市 上之島町北
	二 ツ 亀 一 伸	八 尾 市 本 町
	森 永 ゆ み 子	八 尾 市 南 久 宝 寺
	山 田 和 正	八 尾 市 本 町
講 座 講 師	菊 田 路 代	八 尾 市 安 中 町
	田 中 清 美	八 尾 市 刑 部
	田 中 ヒ デ	八 尾 市 竹 渕 東

講 座 講 師	辻 し の ぶ	八 尾 市 教 興 寺
	仲 本 喜 代	奈 良 県 大和高田市
	藤 田 和 章	八 尾 市 若 林 町
	松 倉 喜 美 代	八 尾 市 垣 内
	山 本 美 由 紀	奈 良 県 葛 城 市
社 会 体 育	須 山 恒 旨	(ご本人の意向により不掲載)

※一般表彰を受けられる方々のうち4名は、ご本人の意向により氏名・住所を不掲載としております。

学校医・学校歯科医表彰

(各分野五十音順)

学 校 医

所 属 名	氏 名	住 所
久 宝 寺 小 学 校 久 宝 寺 中 学 校	藤 井 隆 生	大 阪 市 北 区

学 校 歯 科 医

所 属 名	氏 名	住 所
龍 華 中 学 校	岡 本 功	大 阪 市 天 王 寺 区
曙 川 南 中 学 校	田 中 照 久	奈 良 県 香 芝 市
八 尾 小 学 校	西 村 太 賀 男	羽 曳 野 市 羽 曳 が 丘

教 育 一 般 表 彰

(各分野五十音順)

教 育 一 般

表 彰 分 野	氏 名	住 所
学 校 協 力	川 田 博 昭	八 尾 市 刑 部
	茶 園 真 光	八 尾 市 青 山 町
	前 田 慶 子	八 尾 市 八 尾 木 北
	的 場 恵 子	八 尾 市 刑 部
	守 信 介	八 尾 市 刑 部
	吉 井 治 夫	八 尾 市 小 畑 町

児 童 ・ 生 徒 表 彰

(各部門の学籍は当時のもの)

スポーツ部門

- | | | |
|-------|---|-------|
| (1) | 神本 旬 (八尾市立久宝寺小学校 第 6 学年時)
・ 第 16 回大樹生命ヒーローズカップ
プレートトーナメント | 準 優 勝 |
| (2) | 植松 陽向 (八尾市立大正小学校 第 2 学年) ・
室山 紘輝 (八尾市立南山本小学校 第 3 学年) 組
・ 2024 年少林寺拳法大阪府民スポーツ大会
組演武 小学生の部 B | 第 2 位 |
| (3) | 児玉 梨華 (八尾市立南山本小学校 第 6 学年時)
・ 第 8 回全国少年少女選抜テコンドー選手権大会
女子 -44 kg カデット級 | 第 2 位 |
| (4) | 川上 透真 (八尾市立長池小学校 第 4 学年)
・ ジュニア春季交流試合
小学 4 年男子の部 中級クラス | 準 優 勝 |
| (5) | 富田 媛佳令 (八尾市立長池小学校 第 6 学年)
・ 第 11 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会
AGE 1 女子 | 第 2 位 |
| (6) | 中村 鈴美 (八尾市立長池小学校 第 6 学年)
・ 第 56 回交通安全こども自転車大阪府大会
個人総合競技の部 | 優 勝 |
| (7) | 八尾市立長池小学校 (八尾市立長池小学校児童)
・ 第 56 回交通安全こども自転車大阪府大会
団体総合競技の部 | 優 勝 |
| (8) | 八尾ジュニア (八尾市立小学校児童他)
・ 第 44 回全日本バレーボール小学生大会大阪府大会
女子の部 | 優 勝 |
| (9) | 内野 志保 (八尾市立成法中学校 第 3 学年)
・ 第 70 回全日本中学校通信陸上競技 大阪大会
女子中学共通四種競技 | 第 2 位 |

- | | | |
|------|--|-------|
| (10) | 西谷 南輝星（八尾市立志紀中学校 第3学年）
・第41回全日本少年軟式野球大会 ENEOS トーナメント | 準 優 勝 |
| (11) | 八尾市立曙川南中学校軟式野球部（八尾市立曙川南中学校生徒）
・大阪中学校秋季総合体育大会軟式野球の部 | 準 優 勝 |
| (12) | 岩切 大和（八尾市立亀井中学校 第2学年）
・第78回大阪中学校総合体育大会兼第60回
大阪中学生学年別水泳競技大会 2年男子100m自由形の部 | 優 勝 |
| (13) | 北谷 陽菜乃（八尾市立高安小中学校 第7学年時）
・第77回大阪中学校総合体育大会陸上競技の部
女子1年走高跳 | 第 1 位 |

文化部門

- | | | |
|-----|---|---------|
| (1) | 長谷川 晴馬（八尾市立八尾小学校 第5学年時）
・令和5年度おおさか学校給食献立コンテスト | 最 優 秀 賞 |
| (2) | 浦上 穂乃香（八尾市立龍華小学校 第5学年時）
・「手を洗おう、きれいな手！」
ポスターコンクール2023 個人の部 | 最 優 秀 賞 |
| (3) | 水曜日のサナルーデ（八尾市立小学校児童）
・ヤマハエレクトーンフェスティバル2023
アンサンブル演奏部門 大阪・奈良地区大会
小学生高学年の部 | 金 賞 |